

体の動きを高める運動領域部会 部内授業 提案

1 研究主題を受けた部会の考え方

本部会では、「一人一人の子供が自ら深い学びを実現していく体育学習」及び、今年度の研究の視点「児童一人一人が自らの課題を見出すための手立ての工夫」を受け、一斉一律の課題解決的学習から脱却し、一人一人の児童の能力や関心に応じた課題解決的な学習の実現を目指し、研究を進めていくこととした。本部会ではこれまで、教師が知識を教え、児童は教えられた知識をもとに体の動きを高めていく学習を行ってきた。そのため、児童が学習課題を見出す前に、教師が学習のねらいに合わせた一斉一律の課題を先回りする、受容的な学習を展開してきた。

学習課題は子供一人一人が自ら見出し、設定するものであることを念頭に置き、「思いや願いをかなえるためにはどうしたらよいのか。」という子どもの問いを出発点に、一人一人が学習課題を見出し、一人一人が体の動きの高め方を追求してくような発見的な学習を実現する。

2 体の動きを高める運動領域における学習課題の捉え方

(1) 体の動きを高める運動領域の特性

- 児童一人一人が運動の楽しさを味わいながら、自己の体力に応じた課題をもち、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き及び動きを持続する能力を高めることに楽しさや喜びを味わえる運動である。
- 体の動きを高めるための運動の行い方を理解しながら運動に取り組むとともに、学んだことを授業以外でも生かせるようになることに楽しさや喜びを味わえる運動である。
- 体の動きの高め方について習得した知識や運動の行い方を基にしてより楽しく運動し、目標にせまっていくことで楽しさや喜びを味わえる運動である。

(2) 上記特性を踏まえた体の動きを高める運動領域における学習課題

①自分の思いや願いから設定した学習課題について

体の動きを高めることの目的に関する学習課題

「なぜ体の動きを高めるのか。」「何のために体の動きを高めるのか。」自分なりの目的意識を見出し設定する学習課題。

②自分の今もっている力から設定した学習課題について

体の動きの高め方に関する学習課題

「体の動きを高めるためにはどのように運動に取り組んだらよいのか。」自分なりの高め方を考えて設定する学習課題。

③目標達成に向けての取組から設定した学習課題について

自己の取組を修正、活用する学習課題

「さらに高めるにはどうしたらよいのか。」「他の運動にも活用できるのか。」自己の取組を修正したり、発見した高め方を活用したりして、さらに体の動きを高めるために設定する学習課題。

3 一斉一律の課題解決的な学習から脱却するために（「第5学年 体の動きを高める運動」）

学習課題を踏まえた今までの学習とこれからの学習の違い	
これまでの学習	これからの学習
○第1時にオリエンテーション ・体力の4要素、必要性、適時性について知らせる。 ・体の動きの高め方について知らせる。 ○高め方、動きのポイント、工夫の視点、高まりの定義を指導 ・体の動きを高める運動の行い方を身に付けさせる。 ・ポイントを見付けさせる。 ・工夫をさせる。（選択させる。） ・高まりを実感させる。 ○動きの選択の視点を指導 ・自己の体力に合った動きを選択させる。 ・さらに動きを高めさせる。	○児童が意欲と問いをもつ第1時 ・動画資料を観て、「自分もこんな風になりたいな。」「どうしたらこんな風に動けるようになるのかな。」という意欲と問いをもつ第1時を行う。 ○児童がもった問いをもとに一人一人が学習課題を見出し解決していく ・「どうしたらいいのかな」＝「問い」 「こうしてみよう」＝「課題」とし、問いを明らかにするために自ら課題を設定し、学習に取り組む。 ○一人一人の学習課題を見出す力に合った複線型の学習過程 ・一斉一律に学習を進めていくのではなく、一人一人が自分の学習課題に合わせた学習を行うため、学級内でいくつかの学習過程が展開していく。

4 学習課題を子供一人一人が自ら見いだすための手立て

（1）問いの分類

子どもの問いをもとに学習課題を設定することで、子供たち一人一人が課題を見出し、主体的に学習に取り組むことができるようになると考えた。そこで、「体の動きを高める」という目標に向かって予想される子供たちの問いを学習課題①②③で整理した。この表を活用し、教師は問いを引き出すためのファシリテーションをすることができるようになり、子供が自ら学習課題を見出していくことができるようになると考えた。

（2）オリエンテーション

従来のように、必要性、体の動きの高め方、工夫の仕方などを、教師から一方的に伝達するオリエンテーションではなく、子供たち一人一人が、体の動きを高めることへの目的を見出し、「体の動きを高めたい。」という、意欲や必要感をもつことができるオリエンテーションを行う。直接的に必要性を伝えるのではなく、各種の資料や実際に動いてみた体感をもとに、高めることへの必要感や意欲をもてるようにする。

（3）学びのロードマップ

あらかじめ用意された指導計画にそって、学習を進めるのではなく、子供が問いをもち、問いから学習課題を設定し、子供たち一人一人が自分の学びを行えるように、学習カードや掲示物を活用したロードマップを作成する。学習の見通しをもち、自分の現状を把握したり、振り返りに活用したりするとともに、個人のロードマップと学級全体のロードマップを作成し、全体共通の課題を共有したり、よりよい解決の仕方を共有したりすることができるようにする。

体の動きを高める運動領域部会 学習指導案

日 時 令和2年11月27日(金)
 対 象 第5学年2組35名
 授業者 畠中 圭太 主任教諭
 場 所 江東区立豊洲西小学校

1 単元名 体づくり運動「体の動きを高める運動」

2 単元の目標

知識及び技能	ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

3 単元の評価規準

観点	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
知識・技能	体の動きを高めるため必要性や行い方を理解するとともに、体の動きを高める運動のねらいに合った動きができる。	①体力の必要性や体の動きを高めるための運動の行い方を理解することができる。 ②体の柔らかさを高めるための運動のねらいに合った動きができる。 ③巧みな動きを高めるための運動のねらいに合った動きができる。 ④力強い動きを高めるための運動のねらいに合った動きができる。 ⑤動きを持続する能力を高めるための運動のねらい に合った動きができる。
思考・判断・表現	自分の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫したり選んだりするとともに、動きのポイントや選び方について仲間に言葉や動作で伝えている。	①自己の体の状態や体力に応じて、自己やグループで体の動きを高めるための運動の課題を選んでいる。 ②体の動きを高めるために適した運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。 ③体の動きを高めるために自己やグループで運動の行い方を他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしている。	①体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ②約束を守り、仲間と助け合って運動しようとしている。 ③場の用具の安全に気を配ったりしている。 ④仲間の取組を認めようとしている。 ⑤運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配ろうとしている。

4 児童の実態

- (1) 「学習課題を見いだす力」の実態について
 - 面白そうという欲求で運動に取り組む子、必要なことを考えながら取り組む子、これまでの経験からできそうな運動に繰り返し取り組む子と学習課題の見出し方に違いがある。
- (2) 学習経験、運動経験等に関する実態について
 - 他教科で児童の問いをもとに学習課題、学習計画を立てる経験をしている。
 - コロナ禍における安全・安心への対応から関わり合いが例年よりもできていない。
- (3) 実態に基づく手立ての工夫について
 - 短冊を用いて、ブレインストーミングを行い、児童が問いを見出したものを共有する。

5 学習過程

時間	段階	第5学年 学習内容・活動	
1・2	課題を見出す	4年生までの体づくり運動の経験を振り返る。 ↓ 運動プロモーション動画を視聴し、学習のイメージをもつ。 ↓ ↓ ↓ 体の動きを高める運動をやってみる。 ↓ ↓ ↓ ↓ 運動を通して、一人一人が問いをもつ。 ↓ ↓ ↓ ↓ 一人一人の問いを全体で共有する。 ↓ 問い进行分类する。 ↓ 問いから課題を見出す。 ↓ ↓ ↓ ↓	手立て オリエンテーション マイスタート・マイゴール という体の動きの特性を伝える。 (複数の動画を作成中。いくつかのパターンを実施し、検証予定。) 扱う運動は、長なわ・短なわ・ボール・フープの4種類。 多様の経験から運動の 行い方を確認し取り組む。 短冊に問いを記入し、どのような 問いをもったのか全体で共有する。 手立て 問いの分類 手立て 学びのロードマップ
3～8	課題の解決方法を知る 課題を解決する	運動を通して、一人一人が課題を見出している。 ↓ ↓ ↓ ↓ 自己の課題を解決するために運動する。 ↓ ↓ ↓ ↓ 新たな問い、課題を見出す。 ↓ ↓ ↓ ↓ 課題や解決方法を共有する。 ↓	柔らかさ・巧みな動きに取り組んでいく。柔らかさは第3時で初めて扱い、継続した取り組みの必要性を全体で共有する。第4時以降も帯で実施する。 手立て 学びのロードマップ
9・10	活用	学んできた課題の解決方法をもとに力強さ・持続の運動に取り組む。	活用場面を設けるが5年生では重視しない。

6 本時の目標

体の動きを高めるために必要なことを考えたり、分からないことや疑問をもったりすることができる。

7 本時の展開

学習活動	○教師のかかわり ◎配慮児童への支援	□評価
1 集合・整列・挨拶		
2 4年生までの学習を振り返りながら、体づくり運動で知っていることを確認し、やってみる。	○4年までの多様の運動経験を生かし、過去の学びが今の学びになり、未来の学びへつなげる。	
3 体の動きを高める運動プロモーション動画を見る。	○動画を見て感じたことを全体で共有する。	
4 本時の学習課題を設定する。	○児童から出された問いをもとに課題を確認し、全体で共通の言葉に整理する。	
体の動きを高める運動とはなんだろう？		
5 体の動きを高めることを意識しながら運動(ボール・フープ・なわ跳び)に個人でやってみたい運動に取り組む。	○もとの動きを多様な動きから想起することができるようにする。 ○問いを振り返りで共有することを伝える。 ◎「～をやっているんだね、やってみてどうだった？」と思考を促す言葉かけを行う。	◆体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいるか。(運動・発言)
6 整理運動・片付け	○各部位を意識して運動するように声をかける。	
7 体の動きを高めるということについて振り返る。	○個人の振り返りを書き終わった児童には、短冊に問いを書き、ホワイトボードに掲示していく。	◆本日の学習を振り返り、一人一人が問いをもつ。(学習カード・発言)
8 挨拶		

第1回目	月	日()
☆生まれた?問い? (どうして~? どうしたら~? なぜ~?)		



第2回目	月	日()
☆今日のふり返し(一番大切だと感じたこと)		
☆自分は、この「問い」を解決していきたい!!		



第3回目	月	日()
☆「今日の課題(めあて)」【課題(めあて)は、生まれた問いから作ろう】		
☆今日の課題(めあて)を解決するために、自分が行うこと		
☆今日のふり返し(一番大切だと感じたこと)		



第6回目	月	日()
☆「今日の課題(めあて)」【課題(めあて)は、前回の問いから作ろう】		
☆今日の課題(めあて)を解決するために、自分が行うこと		
☆「今日のふり返し」と「これからにつなげていきたいこと」		



第5回目	月	日()
☆「今日の課題(めあて)」【課題(めあて)は、前回の問いから作ろう】		
☆今日の課題(めあて)を解決するために、自分が行うこと		
☆今日のふり返し(一番大切だと感じたこと)		



第4回目	月	日()
☆「今日の課題(めあて)」【課題(めあて)は、前回の問いから作ろう】		
☆生まれた?問い? (どうして~? どうしたら~? なぜ~?)		
☆今日の課題(めあて)を解決するために、自分が行うこと		
☆今日のふり返し(一番大切だと感じたこと)		

体の動きを高める運動

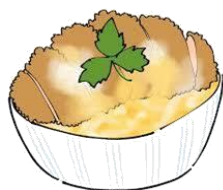
学習カード

○目指したい姿（こんな自分になりたい）を決めよう！

学習前の自分

学習後の自分

考えて



伝えて



どんどんやろう

単元全体をふりかえって（自分の成長を中心に…）

5年 組 名前

14:00～

2 4年生までの学習を振り返りながら、体づくり運動で知っていることを確認。

「今日から体づくり運動 体の動きを高める運動に取り組みます。」

「4年生までの体づくり運動では、どんなことをしてきましたか？」

⇒フラフープを使っていろいろな所で回した など

必要に応じて昨年度の写真

「おおなるほど、では、実際にやってみせてくれないかな？」 ○やってみる（5分）

3 体の動きを高める運動プロモーション動画を見る。

「やってみて、どうだった？いろいろな工夫したり、2つの動きを組み合わせたりしながら運動していたね。この学びをいくよ。ちょっと見てほしいものがあるんだけど 動画（2分）」

「動画を見て、どう思った？」「なるほど、体の動きを高めるってどんなイメージかな？」
疑問、感じたことを書き出す。

14:10～

4 本時の学習課題を確認する。

「今日のめあて、何がいいかな？」

「では、 をめあてに体の動きを高める運動をやってみよう」

14:15～

5 体の動きを高めることを意識しながら運動（ボール・フープ・なわ跳び）に取り組む。

「では、 をめあてに体の動きを高める運動をやってみよう」

「ここに4つの今日使う用具があります。一つはボール。。。どうやって使う？。。。」

、長なわ、短なわ、フープ 多様の経験からもとの動きを確認する。

「運動を通してもった問いを大切にしていこう。みんなで共有していきます。」

案2 個人でやりたい運動を自由に選ぶ

「～をやっているんだね、やってみてどうだった？」思考を促す声がけ。

前半7分 ～14:25

共有3分 ～14:30

後半7分 ～14:37

※運動途中で共有の時間はとる。

「運動してみて、どうだった？」「問いをもつことができた人は赤帽子にしてみよう。」

14:37～

6 整理運動・片付け

7 体の動きを高めるということについて振り返る。

案2 問いを出しつつ、振り返る。

すごいいっぱい問いが生まれたね。次はどうする？どうしたい？